

はじめに

別府大学史学科発足10周年をむかえ、考古学専攻部門の研究史「考古学論叢」を発行することにした。本号はその創刊号で、巻頭に私の尊敬する八幡一郎教授はじめ、多くの学友から玉稿をたまわることができ感謝にたえない。

「考古学論叢」は、西日本における先史考古学の学術書として、大陸と南方諸地域に向けた研究内容を一つの目標としたものにしたいと考えている。また内容においても、考古学にかぎらず、民俗・人類学など広く関連科学に及ぼし、先史考古学に寄与することのできるものとしたい。

「考古学論叢」は当分の間年二度の出版とし、広く学友の起稿を歓迎する。この創刊号発行にあたり、一部の学友の論文が止むなく次号にまわることになり深く御詫びしなければならぬが、今後、この雑誌が定期刊行物として充実した内容を保つためにも、広範囲の御支援を御願し度い所存である。

本誌創刊にあたり、八幡一郎教授、内藤芳篤教授以下学友諸兄、別府大学史学科卒業生諸兄が研究の成果を公開されたこと、更に二ノ宮政幸氏はじめ一般学友と史学科卒業生から創刊の御支援を賜りましたことに感謝し最大の敬意をあらわすものである。

1973年3月1日

別府大学文学部教授

賀 川 光 夫